

「全鍍連」 2024年 8月号 巻頭言

全鍍連 監事 元井 広樹 (株)エム・ティ・アイ 専務取締役)

「組合の繋がりで協力と発展を！」



全国鍍金工業組合連合会で監事を仰せつかっている東北・北海道組合の元井です。日頃より会員の皆様には大変お世話になっており心より感謝しております。

私は、全国鍍金工業組合連合会では監事を仰せつかっており、東北・北海道表面処理工業組合では専務理事、青年部の北青会では副会長、福島県表面処理技術研究会では会長を仰せつかっております。まだ組合に顔を出して十数年の私ですが、組合を通して感じたことを主観でお話させて頂きたいと思います。

めっき業界を取り巻く環境は数年、数十年で大きく変化し続け、輸入問題・物価問題・人材問題・環境問題など様々な問題に追われる日々が続いています。もちろん、お客様の要求も一昔前と同じとは言えません。しかし、輸入企業である私達の業界は変化し続ける時代に対して、直接的にも間接的にも、あらゆる側面の問題に対して短期的・中期的・長期的に解決していく必要があります。その厳しい時代を乗り越えて行くため、組合活動を通して横の繋がりを大切にする必要があると考えています。あらゆるブロック組合の人達と交流を図ることで、全国で抱えている問題が把握でき、注力すべきこと、対策などが相談できる素晴らしい組織だと実感しています。

皆様もご承知の通り、当社は令和元年東日本台風（台風 19 号）の影響で水害被災に遭い、約 1 年間ともに仕事が出来ませんでした。水面は地上から約 2.5m のため、めっき設備、受電設備、お客様からの預かり品などすべて使用不可で、建物や機械を含めた会社全体の約 85%以上を修理・修復・修繕もしくは購入しなければならない状態でした。立て直そうと決めた数日後に新たな問題が発生。それがコロナウイルスに起因する部材の入手困難です。何も出来ず苦慮していたとき、組合の皆様から「困っている事はないか？」と連絡を頂いて相談すると、すぐに運んでくれたり送ってくれたり、本当に助けて頂きました。

私達を取り巻く環境は非常に厳しい状態が今後も続きます。そのような状況を改善するためにも手を取り合い、協力し合っていくことで希望があると思っています。

まだまだ若輩者のため、皆様にはご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、これからもご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。